

# 代表質問から

※ここに掲げている質問は、代表質問の一部を抜粋したものです。 ※( )は選挙区を記載



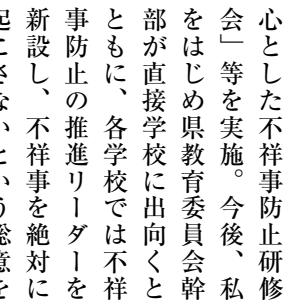
自民党県議団  
江頭 祥一  
(嘉麻市)

**Q 「子ども医療費支給制度」に対する県の助成対象の拡大について。**

**A** この制度の対象は小学生までとなっている。現在、中学生について、入院は全市町村、通院は32市町村が対象としているが、政令市では実施されておらず、対象人口の割合で見ると、25%にとどまっている。子育て世帯の経済的負担の軽減は急務と考えており、県は入院、通院ともに助成対象を中学3年生まで拡大し、県内全ての市町村で同一水準の医療費助成を確保していきたいと考えている。実施時期は、県のみならず市町村にも財政負担が生じ、住民および医療機関への周知、電算システムの改修、医療証の発給等の準備に時間を要することから令和3年度当初からの実施を目指していく。

**Q 県教育委員会の今年度の懲戒処分は11件。現時点で昨年度を上回り、追い打ちをかけるように大川市の中学校教諭が覚せい剤所持容疑で逮捕された。再発防止のための取り組みと県民の信頼回復に向けた決意を教育長に尋ねる。**

**A** 現在、「薬物乱用を中心とした不祥事防止研修会」等を実施。今後、私をはじめ県教育委員会幹部が直接学校に向くとともに、各学校では不祥事防止の推進リーダーを新設し、不祥事を絶対に起こさないという総意を喚起していく。推薦入試については、問題を改めて検証し、必要な改善策を講じ、市町村教育委員会には全ての不祥事を速やかに県に報告させる。本県の学校教育が深刻な事態に直面しているとの危機感を持って、信頼回復に全力を尽くす。



民主県政議団  
原田 博史  
(北九州市小倉北区)

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。

**Q 県教育委員会の今年度の懲戒処分は11件。現時点で昨年度を上回り、追い打ちをかけるように大川市の中学校教諭が覚せい剤所持容疑で逮捕された。再発防止のための取り組みと県民の信頼回復に向けた決意を教育長に尋ねる。**

**A** 現在、「薬物乱用を中心とした不祥事防止研修会」等を実施。今後、私をはじめ県教育委員会幹部が直接学校に向くとともに、各学校では不祥事防止の推進リーダーを新設し、不祥事を絶対に起こさないという総意を喚起していく。推薦入試については、問題を改めて検証し、必要な改善策を講じ、市町村教育委員会には全ての不祥事を速やかに県に報告させる。本県の学校教育が深刻な事態に直面しているとの危機感を持って、信頼回復に全力を尽くす。



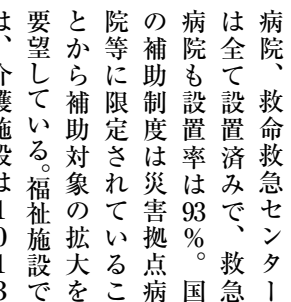
民主県政議団  
原田 博史  
(北九州市小倉北区)

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。



公明党  
浜崎 達也  
(福岡市南区)

**Q 政令市における医療費支給に対する県費補助の改善について。**

**A** 本県における子ども医療費支給制度の対象は、入院、通院ともに小学生までとしている。中学生については、入院は全市町村が、通院は32の市町村が対象としている。しかし、政令市ではいまだ実施されておらず、受けられるサービスに差が生じている。このようなか、両政令市議会議長から県議会議長に要望書が提出され、県議会からも中学3年生までの対象拡大の要望を受けた。県としては入院、通院ともに助成対象を中学3年生まで拡大し、県内全市町村で同一水準の医療費助成を確保していきたい。人口の約半分を占める政令市が対象を拡大することが重要で、対象を拡大する中学生部分の政令市に対する補助率について、現行制度の補助率4分の1に上乗せし、他の市町村と同じ2分の1とし、対象拡大を促していきたい。実施時期は、県にも市町村にも財政負担が生じること、住民および医療機関への周知、電算システム改修、医療証の発給調整等を協議していく。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。



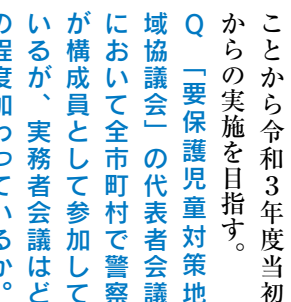
緑友会  
堀 大助  
(行橋市)

**Q 知事はなぜ「公式」小川洋のブログをやめたのか。知事自ら県民に思いを伝えるインターネットでの場を復活させるべきだ。**

**A** ブログは、今年4月の知事選挙で県政に対する私の思いを県民の皆さまに伝えるため、県民の会をはじめとする選挙事務所の皆さんと一緒に作られた。選挙後はこの体制を敷いていないのでブログの発信は休止している。知事としての県政に対する思い、県政の内容などは、県のホームページや記者会見等を通じていろいろな形で皆さまに伝えていく。また、災害時の情報など県民の安全、安心に関連する情報は、とりわけ当局がこれまで積み上げてきたしかるべきルートで責任を持った形で知らせることが大事だと考える。当面は現在行っている情報発信をしっかり行い、充実を図っていく。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。



緑友会  
堀 大助  
(行橋市)

**Q 知事はなぜ「公式」小川洋のブログをやめたのか。知事自ら県民に思いを伝えるインターネットでの場を復活させるべきだ。**

**A** ブログは、今年4月の知事選挙で県政に対する私の思いを県民の皆さまに伝えるため、県民の会をはじめとする選挙事務所の皆さんと一緒に作られた。選挙後はこの体制を敷いていないのでブログの発信は休止している。知事としての県政に対する思い、県政の内容などは、県のホームページや記者会見等を通じていろいろな形で皆さまに伝えていく。また、災害時の情報など県民の安全、安心に関連する情報は、とりわけ当局がこれまで積み上げてきたしかるべきルートで責任を持った形で知らせることが大事だと考える。当面は現在行っている情報発信をしっかり行い、充実を図っていく。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。



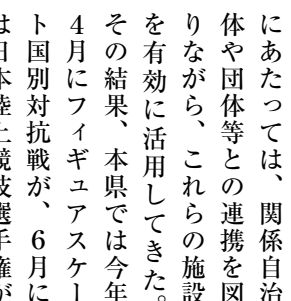
緑友会  
堀 大助  
(行橋市)

**Q 知事はなぜ「公式」小川洋のブログをやめたのか。知事自ら県民に思いを伝えるインターネットでの場を復活させるべきだ。**

**A** ブログは、今年4月の知事選挙で県政に対する私の思いを県民の皆さまに伝えるため、県民の会をはじめとする選挙事務所の皆さんと一緒に作られた。選挙後はこの体制を敷いていないのでブログの発信は休止している。知事としての県政に対する思い、県政の内容などは、県のホームページや記者会見等を通じていろいろな形で皆さまに伝えていく。また、災害時の情報など県民の安全、安心に関連する情報は、とりわけ当局がこれまで積み上げてきたしかるべきルートで責任を持った形で知らせることが大事だと考える。当面は現在行っている情報発信をしっかり行い、充実を図っていく。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。



緑友会  
堀 大助  
(行橋市)

**Q 知事はなぜ「公式」小川洋のブログをやめたのか。知事自ら県民に思いを伝えるインターネットでの場を復活させるべきだ。**

**A** ブログは、今年4月の知事選挙で県政に対する私の思いを県民の皆さまに伝えるため、県民の会をはじめとする選挙事務所の皆さんと一緒に作られた。選挙後はこの体制を敷いていないのでブログの発信は休止している。知事としての県政に対する思い、県政の内容などは、県のホームページや記者会見等を通じていろいろな形で皆さまに伝えていく。また、災害時の情報など県民の安全、安心に関連する情報は、とりわけ当局がこれまで積み上げてきたしかるべきルートで責任を持った形で知らせることが大事だと考える。当面は現在行っている情報発信をしっかり行い、充実を図っていく。

**Q JR日田彦山線の復旧について、知事は先の決算特別委員会で「住民と直接対話をしないのか」との質問に「まずは両首長と協議したい」と答弁した。首長と協議したいという意向を示しているのか。いつまでに行うつもりか。**

**A** 私は先の決算特別委員会で「今後も住民の皆さまとJR九州の意見交換は続くであろうから、この状況を踏まえながら、添田町長、東峰村長と解決に向けた方策について、協議を進めさせていきたい」と旨の答弁をした。現在、町、村におけるさまざまな動きがあり、また、JR九州は地元からの要請に応じて意見交換を行う意向を示している状況にある。答弁の通り、今後の住民の皆さまとJR九州との意見交換も注視しながら、添田町長、東峰村長と協議を行っていきたく考えている。